

# 委員会の焦点

## ～委員会審査報告から～



現在の榑川保育園

を含め1億1千万円余で、見込み額内の予算組みとなっている」との答弁がありました。民生費のうち、老人福祉費では駅南再開発の複合福祉施設、認知症グループホーム、小規模多機能居宅介護施設等6施設への補助金等が盛りられ、児童福祉費では、園長、保育士103人の人件費、嘱託保育士175人分等の報酬及び民間福祉法人が行う(仮称)塩尻駅南保育園と(仮称)よしだ保育園への補助金並びに榑川保育園建設費を含め、市立保育園16園の運営にかかわる予算についての審査を行いました。教育費については、「まなびサポート事業」についての質問に、特別支援講師12人の配置に加え、23年度新たに、支援介助員5名を配置する等の説明がありました。また、

社会教育費の「体育施設整備事業で行うアンケートについてどのようになるのか」との質問に「9月の広報等で情報を提供し、15歳以上を対象に1万人規模での実施を予定。建設の是非そのものを問うものを考えている」との答弁がありました。

### 経済建設委員会 塩尻市観光センター条例を可決

経済建設委員会に付託された議案は、条例案件3件、事件案件1件、予算案件11件で、慎重審査の結果いずれも原案のとおり可決すべきものと決しました。

条例改正の主なものは、塩尻市水道・下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正するものです。経営規模のうち、計画給水人口・計画一日最大給水量を変更し、公共下水道・農業集落排水事業の計画人口・計画一日最大処理量を変更するものです。また、塩尻市上田農業集落排水施設を廃止するものです。

人口推計は、国立社会保障・人口推計は、国立社会保障・人口推計は、どの様に計算しているかとの問いに対し、人口推計は、国立社会保障・人口推計は、



建設中の塩尻市観光センター

問題研究所がコーポト要因法によって推計した数値をもとに、平成12年から平成21年までの人口動態の実数値を分析する中で、給水人口の計画値を設定したとの説明がありました。

塩尻市観光センター条例については、塩尻市観光センターを、新たに塩尻駅前を設置することにより、管理等について必要な事項を定めるものです。観光情報の提供、地場特産物の展示・販売等を行い、市民と観光客との交流を推進することにより、観光の振興・街のにぎわいの創出が期待されます。利用しやすい観光案内所にするための方策を知恵を出して研究していくことが求められています。

平成23年度塩尻市一般会計予算について、新規拡大事業

(関係分)の主なものは、新卒未就職者等緊急雇用事業、塩尻市観光センター設置、しおじりもの創り事業、地域ブランド推進事業、都市計画道路見直し事業、道路アセットマネジメント調査業務、公営住宅長寿命化計画策定、統合型GIS共用空間データ作成等新しい事業も多くあります。この事業を活かした取り組みが求められています。

当委員会開催中に未曾有の大地震の大きな揺れに遭遇し、市民の安全対策の再構築が必要と感じています。日を追うにつれ、被害の大きさが明らかになり、牛伏寺断層が近くにあり塩尻市としても、防災と減災の仕組みづくりを早急に作らなければならないと考えます。



委員会での審査の様子